

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーカスシステムズ

コード番号 4662

URL <http://www.focus-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 畑山 芳文

(TEL) 03(5421)7777

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,876	8.7	535	11.2	496	7.2	313	25.0
26年3月期第3四半期	10,007	14.0	481	285.3	463	319.6	250	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	45.23	—
26年3月期第3四半期	36.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,559	6,087	44.9
26年3月期	11,837	5,029	42.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,087百万円 26年3月期 5,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 26年3月期期末配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当10円00銭

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.5	900	1.4	850	0.0	500	9.7	72.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	8,146,471株	26年3月期	8,146,471株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,223,090株	26年3月期	1,223,040株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	6,923,411株	26年3月期3Q	6,923,431株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、政府主導の経済政策や、日銀による金融緩和の効果等から、穏やかな回復基調が継続したものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や、急ピッチな円安による原材料コストの増加懸念が生ずるなど、企業の景況感が停滞する状況下で推移しました。

情報サービス業界におきましては、顧客の情報システムに関する投資意欲は前年度からの回復傾向が継続し、価格競争は厳しいものの堅調に推移しております。

このような状況の中、当社は、「公共関連事業」・「民間関連事業」・「セキュリティ機器関連事業」の3報告セグメントそれぞれで異なる事業環境・得意分野を念頭に、組織間の連携強化、成長分野・商材・部門への資源の優先投下、環境変化への対応、そして人材育成と営業活動の強化を経営戦略に掲げ、事業活動を推進しております。全てのセグメントにおいて、計画通り順調に推移しておりますが、特に「公共関連事業」においては、前年第4四半期より回復傾向が顕著となり、売上・利益とも伸びております。

これらの結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高10,876百万円となりました。また利益面では、営業利益535百万円、経常利益496百万円、四半期純利益313百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期における総資産は13,559百万円となり、前事業年度末と比べ1,721百万円増加しました。

前事業年度末と比べ増減した主な内容は次のとおりです。

売掛金は455百万円減少し2,466百万円、仕掛品は188百万円増加し217百万円となりました。当社は工事進行基準を適用しておりますが、年度末に完了するプロジェクトが比較的多いことから、四半期末の数値は前事業年度末と比べ売掛金が小さく、仕掛品が大きくなる傾向にあります。

投資有価証券は1,373百万円増加し2,554百万円となりました。これは保有している有価証券の時価が年度末と比べ値上がりしたことによるものです。

ソフトウェア仮勘定は99百万円増加し127百万円となりました。これは業務効率化のための社内システム開発にかかる費用であります。

このほか、現金及び預金は474百万円増加し3,646百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,171,791	3,646,559
売掛金	2,922,396	2,466,521
商品及び製品	17,586	25,919
仕掛品	29,117	217,906
繰延税金資産	178,730	178,730
その他	109,010	112,955
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	6,428,432	6,648,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,229,039	1,242,733
減価償却累計額	△859,162	△877,529
建物及び構築物(純額)	369,876	365,203
土地	3,287,792	3,287,792
その他	346,540	348,169
減価償却累計額	△262,975	△268,156
その他(純額)	83,565	80,013
有形固定資産合計	3,741,234	3,733,010
無形固定資産		
ソフトウェア	22,583	18,947
ソフトウェア仮勘定	28,084	127,642
その他	10,248	8,962
無形固定資産合計	60,915	155,551
投資その他の資産		
投資有価証券	1,181,466	2,554,614
長期貸付金	55,365	46,860
その他	422,666	466,234
貸倒引当金	△52,850	△45,450
投資その他の資産合計	1,606,649	3,022,260
固定資産合計	5,408,799	6,910,822
資産合計	11,837,231	13,559,214

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	589,899	589,291
1年内償還予定の社債	84,000	279,000
短期借入金	554,000	702,530
1年内返済予定の長期借入金	1,360,136	1,212,773
未払法人税等	381,355	44,816
賞与引当金	346,549	133,611
役員賞与引当金	60,000	45,000
訴訟損失引当金	56,400	8,700
その他	669,827	887,797
流動負債合計	4,102,167	3,903,520
固定負債		
社債	324,000	987,000
長期借入金	1,882,486	1,584,275
繰延税金負債	349,811	839,240
役員退職慰労引当金	149,166	157,219
固定負債合計	2,705,463	3,567,735
負債合計	6,807,631	7,471,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	1,468,471	1,468,471
利益剰余金	719,296	893,978
自己株式	△706,354	△706,397
株主資本合計	4,386,835	4,561,475
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	642,764	1,526,483
評価・換算差額等合計	642,764	1,526,483
純資産合計	5,029,600	6,087,958
負債純資産合計	11,837,231	13,559,214

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,007,602	10,876,655
売上原価	8,730,322	9,483,857
売上総利益	1,277,279	1,392,798
販売費及び一般管理費	795,294	857,017
営業利益	481,985	535,780
営業外収益		
受取利息及び配当金	19,329	4,041
受取家賃	17,246	17,381
貸倒引当金戻入額	-	7,400
その他	7,255	6,919
営業外収益合計	43,831	35,741
営業外費用		
支払利息	48,978	49,063
貸与資産減価償却費	5,139	4,838
社債発行費	2,291	15,521
貸倒引当金繰入額	400	-
その他	5,797	5,531
営業外費用合計	62,607	74,954
経常利益	463,208	496,567
特別利益		
補助金収入	-	22,402
特別利益合計	-	22,402
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	-	14,095
ゴルフ会員権評価損	3,627	1,050
特別損失合計	3,627	15,145
税引前四半期純利益	459,581	503,823
法人税等	208,980	190,673
四半期純利益	250,601	313,150

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。